

瑞穂市図書館だより

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>

2022. 02第69号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

梅のつぼみがふくらむころとなりましたが、まだまだ寒い日が続きます。新型コロナウイルス感染予防と体調管理にはお気をつけください。

さて、今月は分館で『バルーンアート パフォーマンスショー』、本館で『大人向け図書 リサイクルフェア』の開催を予定しています。今回のイベントは事前の申し込みが必要となりますので、詳しくは、館内ポスターやHPをご覧ください。



2月のイベントカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
  		1	2	3	4	5
6	7 休館日	8	9	10	11	12
13	14 休館日	15	16	17	18	19
20	21 休館日	22	23 ＜分館＞ バルーンアート パフォーマンス ショー	24 休館日	25	26 ＜本館＞ 大人向け図書 リサイクルフェア
27 ＜本館＞ 大人向け図書 リサイクルフェア	28 休館日	新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、定期的に開催する「おはなしの会」などは中止します。				
「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「声を出して本を読みましよう！」 「映画鑑賞会」 （両館共通） 毎週土曜日 14：30～ おはなし室 【本館】第2第4火曜日 10：30～ おはなし室 【分館】第3第4金曜日 10：30～ 絵本フロア （本館のみ）第4火曜日 10：00～ 2階・学習室 （本館のみ）第3土曜日 14：00～ 2階・学習室						



『絵の中のモノ語り』

中野 京子//著 <723/ナ> **本館所蔵**

怖い絵シリーズの著者が、生活用品・食べ物・動物・装飾品・シンボル・楽器の6章からなる32のモノと物語に迫ります！2人の少女が持つ「提灯」、注がれた「ワイン」、「猫」を抱く少年、頭上に輝く「光輪」……。西洋名画に描かれたアイテムから歴史の謎や闇、社会背景と画家の思いを一緒に読み解いていきましょう。



『ニワトリと卵と、息子の思春期』

分館所蔵

繁延 あづさ//著 <916/シ>

小6と小4の息子のいるわが家には、ゲーム機がなかった。ある日長男が、「ゲーム買うのやめるからさ、その代わりニワトリ飼わせて」え、なに？ニワトリって。机の上には〈ニワトリ飼育計画書〉が置いてあった。私が出した条件に集中力を発揮した息子たち、その夏ゲーム機とニワトリがやってくるようになった。

※他にもまだまだあります♪ 一般（毎週土曜日発行）・児童（隔週土曜日発行）の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『日本の鬼図鑑』

本館所蔵

八木 透//監修 <388.1/二>

日本には、多くの神様や仏様……。そして「鬼」がいます。「鬼」はどのような存在でどこから来たのでしょうか？古くは平安時代の辞典に得体の知れない恐ろしいモノと記され、現代では漫画やアニメに登場し馴染みのある存在となりました。多種多様な姿と役割のある鬼たちを絵図とともに詳しく解説します。



『山の上に貝がらがあるのはなぜ?』

両館所蔵

ルッキス ガス//文 ミヅ アライ=05//絵 <科学/E/ア>

ここは岩山の上。そこらじゅう、カキのからがいっぱい！カキは海の生きものよね。どうやってこんな山の上まできたのかしら？これにはすごいひみつがあるの。
貝がらの化石のなぞを解く地質学の絵本です。この本を読み終えたときには、時間の長さの感じ方がかわってくるでしょう。

本館 テーマブック

『考えよう多文化共生』

多文化共生とは・・・『国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと』です。世界の文化やコミュニケーションなどに関する本を紹介します。

※岐阜県公共図書館協議会共通資料テーマ展示

『RDD』

RDDとは・・・『毎年2月末日の「世界希少・難治性疾患の日（Rare disease day）」のこと』です。より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質の向上を目指して、スウェーデンで2008年から始まった活動です。

※RDD2022 in 岐阜 難病図書フェア展示

今月のテーマ

『考えよう多文化共生』・『RDD』



『世界の奇習と奇祭』
E.リード ロス//著
〈382/ロ〉 本館所蔵



『「やさしい日本語」表現事典』
庵 功雄//編著
〈810.7/イ〉 本館所蔵



『みんなとおなじくできないよ』
湯浅 正太//作
石井 聖岳//絵
〈E/イ〉 両館所蔵



『こんな夜更けにバナナかよ』
渡辺 一史//著
〈369.2/ワ〉 本館所蔵

分館 テーマブック

今月のテーマ

『ネコ・チョコレート・ぬくぬくあったまろう』



『ぬくぬく』

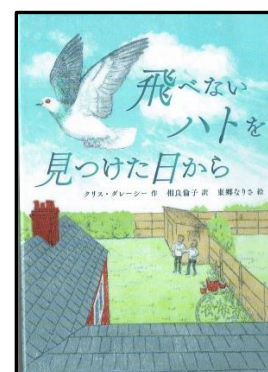
分館所蔵

みやもと ただお//作 〈E/ミ〉
おばあちゃんちのこたつはあったかい。
「どうして？」ときくと「ひよこがポカポカうまれているからだよ」とおばあちゃん。
ほんとー？うそだ！
ポカポカして、ホコホコして、ポッポポッポ・・・
どうしてかな？

リブ
L・I・B

ヤングアダルト

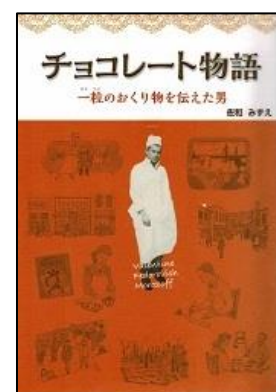
YA向け おすすめの本



『飛べないハトを見つけた日から』

両館所蔵

クリス・ダレーシー//作〈児/933/タ〉
ある日公園で飛べなくなっているレースバトを見つけたダリルは、元の飼い主からハトを譲り受けます。反対する両親を説得しハトを飼うことに、お世話はもちろん学校の勉強も一生懸命に取り組むようになったダリルでしたが、上級生からのいじめが始まり・・・苦難を乗り越えて成長する少年の物語です。



『チョコレート物語 一粒のおくり物を伝えた男』

佐和 みずえ//著 〈児/289/モ〉 両館所蔵

1917年ロシア革命からのがれるようにして、中国、アメリカへ渡り、そして日本にやってきたロシア人のモロゾフ一家は大正時代に神戸でチョコレート店を開店しました。
さまざまな困難・苦勞にも、あきらめずに家族で立ち向かいひと粒でも、みんなを幸せにする本物のチョコレートをつくり続けたモロゾフ一家の物語。2月に読みたい一冊です。



チョコレートの世界



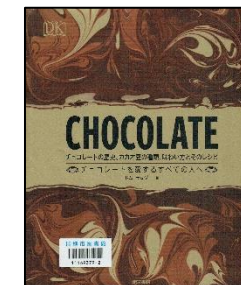
2月14日はバレンタインデー。バレンタインデーといえば、チョコレートです。図書館ではレシピの本だけでなく、チョコレートについて詳しくなれる本も所蔵しています。甘くておいしい、魅惑のチョコレートの世界に誘われてみませんか？



『チョコレート語辞典』
〈588.3/カ〉



『チョコレートのお菓子』
〈596.6/サ〉



『CHOCOLATE』
〈617.3/ラ〉